安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制 本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止 本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止 AC100V（50/60MHz） 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧を使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止 電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
・設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。・熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。・極端に折り曲げないでください。
・電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。
万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制 電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制 小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止 濡れた手で本製品に触らないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止 風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く 本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止 筐体表面が熱くなりますが異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。
・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
・本製品に布などをかぶせないでください。

DT-H30/U2について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、パソコンの電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

⚠ 注意

強制 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身近の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

強制 パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

禁止 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
・ 強い磁界、静電気が発生するところ
・ 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
・ 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・ 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・ 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
・ 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
・ 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制 本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 各接続コネクターのチリやほこり等は、取り除いてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止 本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止 シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止 本製品へのアクセス中は、本製品からUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

DT-H30/U2RAユーザーズマニュアル
2009年7月10日 第3版発行　発行　株式会社バッファロー

DT-H30/U2RA ユーザーズマニュアル

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

本製品は、弊社製DT-H30/U2(地デジチューナー)とDT-OP-RA(アンテナ)のセット製品です。
万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□DT-H30/U2(地上デジチューナー本体)..... 1 個

□DT-OP-RA(ブースター搭載室内アンテナ).....1 個

□縦置き用スタンド.....1個
□横置き用ゴム足シール........... 4 個
□USBケーブル(地デジチューナー本体用)...... 1 本
□USB 給電ケーブル（アンテナ用）..........1 本
□B-CAS（ビーキャス）カード..................1 枚
□ユーティリティーCD........................... 1 枚
☑ユーザーズマニュアル（本紙）..............1 枚

B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属のB-CASカードもお送りください。

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。
※ユーティリティーCDには、本製品の付属ソフトウェアやヘルプが収録されています。詳しい操作手順はヘルプをご参照ください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

横置き用ゴム足シールの貼り付け位置

横置きの向きで設置するときは、図の位置に付属のゴム足シールを貼付してください。

<底面から見た図>
貼り付け位置　貼り付け位置

縦置き用スタンドの取り付け

縦置きの向きで設置するときは、図のように縦置き用スタンドを取り付けてください。

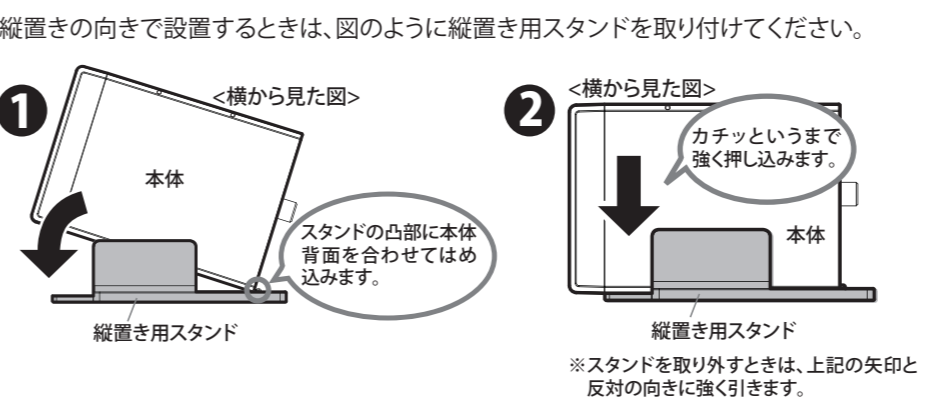
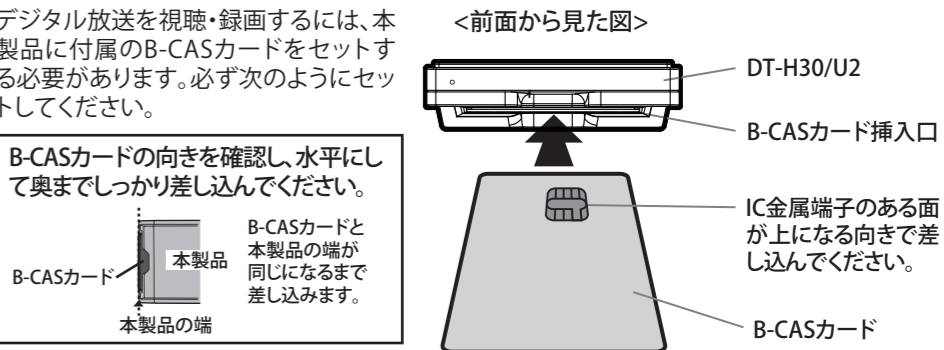
❶ <横から見た図>
本体
スタンドの凸部に本体背面を合わせてはめ込みます。
縦置き用スタンド

❷ <横から見た図>
カチッというまで強く押し込みます。
本体
縦置き用スタンド
※スタンドを取り外すときは、上記の矢印と反対の向きに強く引きます。

右上へつづく

ステップ2 B-CASカードをセットしよう

デジタル放送を視聴・録画するには、本製品に付属のB-CASカードをセットする必要があります。必ず次のようにセットしてください。

B-CASカードの向きを確認し、水平にして奥までしっかり差し込んでください。
B-CASカード　本製品　本製品の端
B-CASカードと本製品の端が同じになるまで差し込みます。

注意

【 B-CASカードの取り扱い上のご注意 】
・B-CASカードをセットするときは、向きに注意して確実に差し込んでください。またB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
・DT-H30/U2使用中は、B-CASカードに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
・B-CASカードのIC金属端子には手を触れないでください。
・B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
・B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしなでください。
・B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
・B-CASカードを分解、加工をしないでください。

【 B-CASカード保管の際の注意 】
付属のB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくためのカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、下記のB-CASカスタマーセンターへご連絡ください。
破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。
また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

<B-CASカードのお問合せ先>
株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL：0570-000-250 （受付時間：10：00～20：00）

ステップ3 ドライバーをインストールしよう

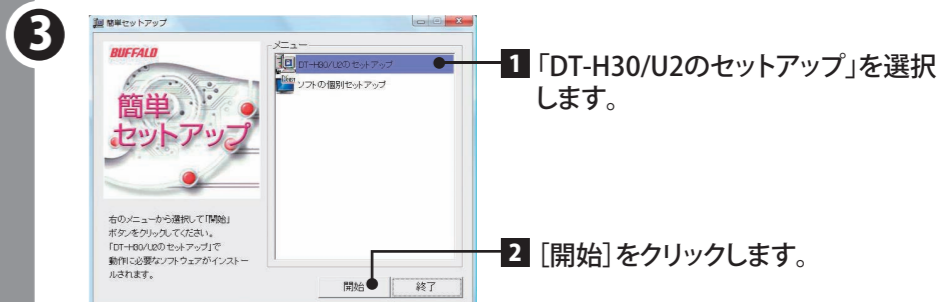
次の手順で本製品の取り付け、ソフトウェアのインストールを行います。

まだパソコンにDT-H30/U2を取り付けないでください。

❶ 周辺機器→パソコンの順に電源をONにします。

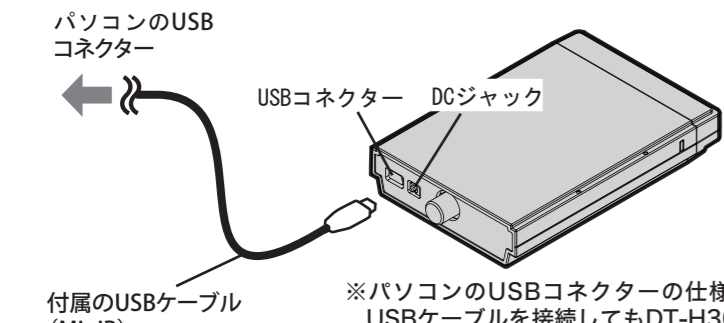
注意
・ウィルス対策ソフトウェア(例：ウィルスバスター2008など)が起動している状態では、ドライバのインストールが完了できないことがあります。ウィルス対策ソフトウェアを終了してから手順2以降を行ってください。ウィルス対策ソフトウェアはインストール完了後に起動してください。
・コンピューターの管理者権限があるユーザー名でログインしてください。それ以外のユーザー名では正常にインストールできません。

❷ ユーティリティーCDをパソコンにセットします。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

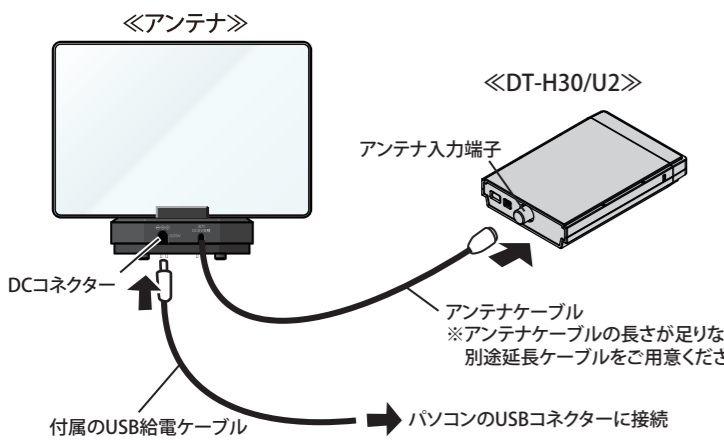
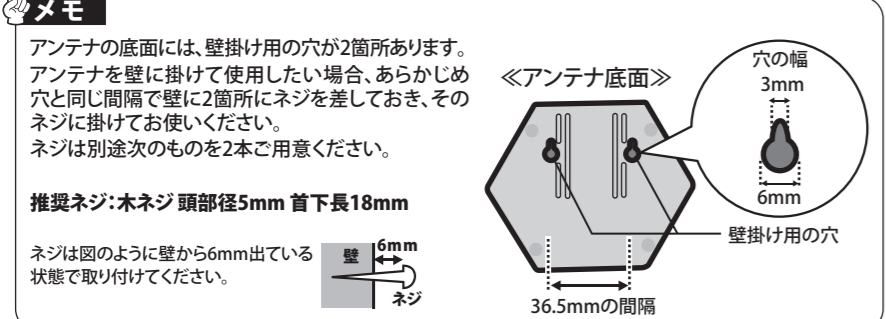
❸
1 「DT-H30/U2のセットアップ」を選択します。
2 [開始] をクリックします。

※この画面が表示されないときは、ユーティリティーCD内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。

次のページへつづく

前ページからのつづき

4 画面の指示に従って、USBケーブルとアンテナをパソコンに接続します。

※パソコンのUSBコネクターの仕様によっては、USBケーブルを接続してもDT-H30/U2が動作しないことがあります。その場合は、別売のACアダプター（弊社製AC-DC5）をDCジャックに取り付けてご使用ください。

アンテナは次のように接続します。

メモ

アンテナの底面には、壁掛け用の穴が2箇所あります。アンテナを壁に掛けて使用したい場合、あらかじめ穴と同じ間隔で壁に2箇所にネジを差しておき、そのネジに掛けてお使いください。
ネジは別途次のものを2本ご用意ください。

推奨ネジ：木ネジ 頭部径5mm 首下長18mm

ネジは図のように壁から6mm出ている状態で取り付けてください。

⚠注意 **電波の弱い場所や、電波を遮られた場所では、地上デジタル放送が受信できない、または不安定な受信状態となる(ブロックノイズ発生など)ことがあります。このようなときは、送信局がある方向の窓の近くにアンテナを置いてください。**

送信局の近くなど、電波が極端に強い場所では、アンテナを取り付けても映像が改善しないことがあります。

BS、110度CSなど地上デジタル放送用以外の他製品のアンテナコネクターに接続しないでください。接続するとアンテナが故障する恐れがあります。

5 画面の指示に従って、PCastTV for 地デジをインストールします。

注意

インストール中に、CD-keyの入力が求められます。**ユーティリティーCDが入っている袋に記載してあるCD-keyを入力してください。**CD-keyは念のために下記へ書き写してください。

CD-key記入欄

CD-keyは大切に保管してください。CD-keyがないとPCastTV for 地デジが再インストールできなくなります。

6 「セットアップ完了」と表示されたら、[再起動]をクリックして、パソコンを再起動します。

以上で取り付けとソフトウェアのインストールは完了です。

メモ

ドライバをインストールすると、[デバイスマネージャ]にDT-H30/U2が次のように登録されます。

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]
・BUFFALO DT-H30/U2 Video Capture

※[デバイスマネージャ]は、次の方法で表示できます。
[マイコンピュータ(またはコンピュータ)]を右クリック→[管理]をクリック→[デバイスマネージャ]をクリックします。

※登録された DT-H30/U2 のアイコンに「!」が付いている場合は、インストールに失敗しています。簡単セットアップで [ソフトの個別セットアップ] から [DT-H30/U2 ドライバの削除] を行った後、再度インストールを行ってください。

※本製品を使用するには、パソコンにスピーカーが接続されている必要があります(USB接続のサウンド機能およびBluetoothなどのデジタルオーディオ機器は非対応です)。

右上へつづく

ステップ4 パソコンでテレビを楽しもう

PCastTV for 地デジを使ってテレビを見たり、録画や再生をしてみましょう。

■ PCastTV for 地デジの起動と終了

デスクトップ画面のアイコンをダブルクリックすることで起動できます。

※[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[PCastTV for 地デジ]－[PCastTV for 地デジ]を選択することでも起動することができます。

PCastTV for 地デジを終了する場合は、メインウィンドウ右上の[×]をクリックしてください。

はじめて起動したときは、設定ウィザードが表示されます。画面の指示にしたがって、地域・周波数帯域等を設定し、チャンネル検索を必ず実行しチャンネルを設定してください(チャンネル検索には、数分～数十分かかります)。

※郵便番号の入力画面では、"-（ハイフン）"を除いた7桁の数字を入力してください。

※周波数帯域の選択画面では、[全て][UHF][VHF]から選択できます。お使いの環境がどれに該当するか分からないときは、[全て]を選択してください。

■ PCastTV for 地デジの画面

メインウィンドウ

設定パネル

初回起動時は番組表に番組データがありません。番組データを取得するには、PCastTV for 地デジを終了して、タスクバーの アイコンを右クリックメニューから[番組表の更新]を選択してください。
※番組表の更新には数十分かかることがあります。

サブウィンドウでの操作

サブウィンドウ

サブウィンドウは、メインウィンドウの[番組表][ファイル一覧][予約一覧]をクリックすると表示されます。

サブウィンドウでは、次のことをすることができます。

[番組表]
EPG番組表から番組を予約することができます。番組ジャンルや検索キーワードを入力して番組を検索することもできます。

[ファイル一覧]
録画したファイル一覧が表示されます。録画した番組をダブルクリックすると再生します。

[予約一覧]
予約している項目の一覧が表示されます。予約の削除や変更を行うことができます。

[チャンネル]
チャンネル名をダブルクリックするとそのチャンネルに表示が切り替わります。

メインウィンドウ 設定パネルの各ボタン操作

PCastTV for 地デジでの各ボタン操作は次の通りです。

ボタン	内容
設定	PCastTV for 地デジの設定画面を表示します。
番組表	番組表を表示します。
データ放送	データ放送対応の番組を視聴の場合、データ放送に映像を切り替えます。
ファイル一覧	録画したファイル一覧を表示します。選択して再生することができます。
予約一覧	予約の一覧を表示します。
字幕	字幕対応の番組を視聴の場合、字幕メニューを表示します。
番組情報	番組情報の表示/非表示を切り替えます。
データ放送視聴 TV視聴/ファイル再生	[データ放送視聴]をクリックするとデータ放送視聴用のボタンに切り替わります。[TV視聴/ファイル再生]をクリックすると、番組視聴・録画画面用ボタンに切り替わります。
チャンネルUp/Down	表示しているチャンネルを変更します。
録画/録画停止	録画を開始します。録画中は、録画停止となります。
再生/一時停止	再生を開始します。再生中は、一時停止となります。
停止	再生を停止します。
シーク巻き戻し/ シーク早送り	指定した時間分の巻き戻し、早送りをします。指定は設定画面から[録画とタイムシフト]-[タイムシフト設定]-[スキップ時間]で設定できます。
巻き戻し/早送り	巻き戻し、早送りをします。
ミュート ⊖ ⊕	+で音量を上げます。-で音量を下げます。ミュートをクリックすると消音します。もう一度クリックすると消音を解除します。
▲ ◀ 決定 ▶ ▼	データ放送閲覧時にカーソルを移動します。[決定]では選択項目を決定します。
戻る	データ放送閲覧時に元の画面へ戻ります。 ※一部のサイトでは、戻るをクリックしても元の画面に戻れないことがあります。
（色ボタン）	データ放送番組で色ボタン(Blue、Red、Green、Yellow)ごとに割り当てられた機能が働きます。番組によって機能は異なります。
（シークバー）	シークバーをドラッグ＆ドロップすることで、再生位置を任意に変更できます。
（表示欄）	チャンネル名、番組名または録画番組名、時間を表示します。

タスクバーにあるアイコンからの操作

PCastTV for 地デジのアイコンから次の操作をすることができます。

[PCastTVを起動する]をクリックすると、PCastTV for 地デジを起動します(既に起動しているときは選択できません)。
[番組表/予約一覧を表示する]をクリックすると、サブウィンドウの番組表/予約一覧が表示されます。
[Webブラウザ(番組表)開く]をクリックすると、インターネットの番組番組表を表示します。
[番組表の更新]をクリックすると、番組表のデータを更新します。
[おまかせ/遠隔録画設定(iCommand)]をクリックすると、iCommandの設定画面を表示します。
[設定]をクリックすると、iEPGなどの設定画面を表示します。
[ユーザープロファイルの設定]をクリックすると、「ユーザープロファイル」選択時の画質の設定画面を表示します。
[終了]クリックすると、PCastTV for 地デジを終了します。

PCast TV for 地デジの詳しい使い方については、「DT-Hシリーズ ヘルプ」をご参照ください。

画面で見るマニュアルの読み方 「DT-Hシリーズ ヘルプ」

付属ソフトウェアの使用方法や注意事項などは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。ヘルプは次の手順で見ることができます。

ヘルプの表示方法
[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[PCastTV for 地デジ]－[DT-Hシリーズ ヘルプ]を選択します。

ヘルプの内容
「番組視聴手順」「録画予約手順」「録画番組視聴手順」「録画した番組のコピー(ダビング10)手順」「困ったときは」「用語集」など

Webで解決 バッファローホームページ(buffalo.jp)トップの検索ウィンドウに半角で「**8007**」と入力し、検索ボタンをクリックすると、よくある質問を表示します。困ったときにご参照ください。

8007 検索

DT-H30/U2の取り外しかた

DT-H30/U2(地デジチューナー)をパソコンから取り外すときは、パソコンの電源をOFFにしてから取り外してください。

アンインストール

本製品に付属のソフトウェアが不要になったときは、次の手順でアンインストールします。

■PCastTV for 地デジの削除
[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[PCastTV for 地デジ]-[PCastTV for 地デジのアンインストール]を選択し、画面の指示にしたがってアンインストールします。

■PCastTV for 地デジ 番組表の削除
[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[PCastTV for 地デジ]-[PCastTV for 地デジ 番組表のアンインストール]を選択し、画面の指示にしたがってアンインストールします。

■ DT-H30/U2ドライバの削除
付属のユーティリティーCDをパソコンにセットしたときに起動する簡単セットアップで[ソフトの個別セットアップ]ー[DT-H30/U2 ドライバの削除]を選択します。

制限事項

本製品には次の制限事項があります。

●放送の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。そのため録画した番組を再生するには、本製品(録画時に使用したチューナー)をあらかじめパソコンに接続しておく必要があります。また録画時と同じドライブ名、フォルダ名でないと再生することができません。
●録画した番組の編集、加工、コピー、移動はできません。
●HP、LLPモードで録画した番組をBD-REメディアにムーブすることはできません。
●DP、HP、SP、LP、LLPモードのいずれのモードで録画した番組もBD-Rメディアへムーブすることはできません。
●DVD-RW/DVD-RAMメディアへムーブする場合、CPRMに対応した書き込みドライブが別途必要です。
●DVD-RW/DVD-RAM/BD-REメディアへムーブしたビデオを視聴する場合、次の再生用ソフトウェアが別途必要です。
DVD-RW/DVD-RAM : CPRM対応のDVDプレーヤー
BD-RE : BD-RE対応のBDプレーヤー
●Windows Vistaをお使いの場合、テレビ視聴中にユーザーアカウント制御の画面が表示されるとテレビの視聴は中断されます。
「ユーザーアカウント制御」を表示しないように設定することで回避することもできます。
1.[スタート]ー[コントロールパネル] をクリックします。
2.[ユーザーアカウント] または[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックします。
3.[ユーザーアカウント] をクリックします。
4.[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]をクリックします。
※「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたときは、[続行]をクリックします。
5.[ユーザーアカウント(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる]のチェックを外します。
6.[OK] をクリックします。
パソコンが再起動されます。
以上で設定は完了です。

●地デジ映像の画面出力対応表

グラフィック仕様		ディスプレイ仕様：HDCP対応 DVI接続	HDCP対応 アナログRGB接続	HDCP非対応 DVI接続	HDCP非対応 アナログRGB接続	ノートPC 一体型PC 内部接続
HDCP対応	COPP対応	○	△※	×	△※	○
HDCP対応	COPP非対応	×	×	×	×	×
HDCP非対応	COPP対応	△※	△※	×	△※	○
HDCP非対応	COPP非対応	×	×	×	×	×

○・・・DP/HP/SP/LP/LLP全モード対応
△※・・SP/LP/LLPモードのみ表示可能
×・・・使用できません

※上の表は、著作権保護されている地デジ映像を画面に出力できる組み合わせを示したものです。表中の組み合わせを満たしている場合でも、パソコンの再生能力の問題からご視聴いただけないことがあります。
※著作権保護に対応するには、パソコン本体のグラフィックドライバーを最新にしてください。
※マルチディスプレイはデュアルモードのみ対応です。視聴できる接続の組み合わせは上記条件と同じになります。"視聴可能なディスプレイ"の画面中で起動した視聴ウィンドウを"視聴できないディスプレイ"に移動すると、視聴ソフトウェアが終了します。

地上デジタルテレビ放送の視聴について
○地上デジタルテレビ放送は、アナログ放送とは異なる方式のため、従来の環境ではご覧いただけない場合があります。ご利用前に受信可能な環境かご確認ください。
○電波の受信状態が不安定な場合、映像が途切れたりブロックノイズが現れることがあります。
詳しくは「社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)"地デジを見るには"をご覧ください。
http://www.dpa.or.jp/

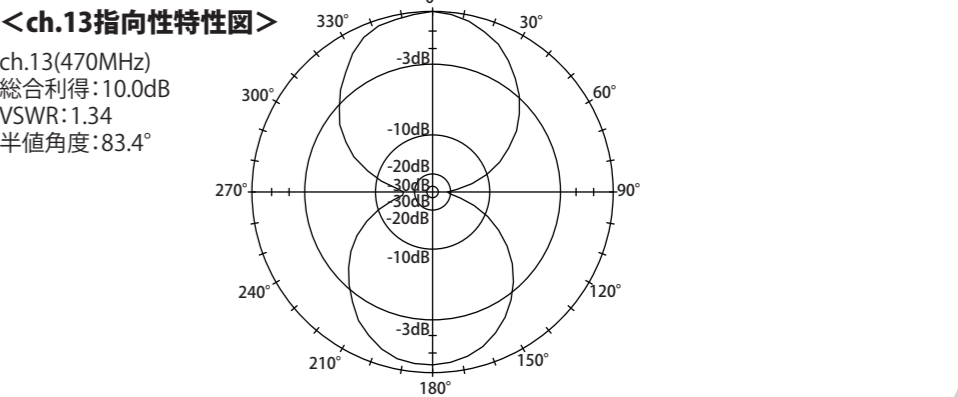
製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

項目		仕様
インターフェース		USB2.0 HighSpeed（パソコンに標準搭載されていること）
受信ch		UHF：13～62ch、 VHF：1～12ch CATV：C13～C63(パススルー方式に対応)
TV音声		ステレオ/2ヶ国語
アンテナ入力		F型コネクター
画像サイズ		1440×1080、720×1080、720×480、352×480
録画対応フォーマット		MPEG2-TS
録画映像の著作権保護		AES128bit
電源		DC5V（USBバスまたは別売AC-DC5） ※USBバスパワー電源の供給能力が不足するパソコンでは別売のACアダプター（AC-DC5）が別途必要です。
消費電力		最大5W以下
電源管理		ACPI（S3）対応
外形寸法		22×80×115mm（スタンド・突起部を除く）
重量		約140g（本体のみ、付属品含まず）
動作環境		温度：5～35℃　　湿度：20%～85%（結露なきこと）
対応機種	CPU	DP/HP画質時：Pentium D 925 3.0GHz同等以上(Core2Duo E4300 1.8GHz同等以上推奨)、AMD Sempron3200+同等以上(Athlon64 3200+同等以上推奨) SP/LP画質時：Celeron D 330 2.6GHz同等以上、Celeron M 450 2.0GHz同等以上(Core2Duo E4300 1.8GHz同等以上推奨)、AMD Sempron2800+同等以上(Athlon64 3200+以上推奨) LLP画質時：PentiumM 1.1GHz同等以上
	メモリー	1GB以上（1.5GB以上推奨）
	ハードディスク	2GB以上の空き容量が必要です。 録画する場合は、録画データの保存用に別途空き容量が必要です。
	グラフィックカード	表示解像度1024×768以上 アナログディスプレイ接続時：COPPドライバ必須 デジタルディスプレイ接続時：ディスプレイとグラフィックボードがHDCPまたはHDMIに対応していること Windows Vista時： DirectX10対応/VRAM256MB以上/Intel 945以上/AMD 780以上/GeForce 6200以上/Radeon X1300以上 （PCI-Express接続/GeForce 7600GT以上/Radeon X1800以上推奨） Windows XP時： DirectX9.0c対応/ハードウェアオーバーレイ表示可能なグラフィック機能/VRAM256MB以上/Intel 915以上/AMD690以上/GeForce 6200以上/Radeon X1300以上(PCI-Express接続/GeForce 7600GT以上/Radeon X1800以上推奨） ※パソコン環境や接続インターフェースによってはコマ落ち/音飛びなどが発生することがあります。
	サウンド	DirectX9.0cに対応した48KHzステレオ再生および Direct Soundをサポートするサウンド機能とスピーカー ※USB接続のサウンド機能およびBluetoothなどのデジタルオーディオ機器は非対応です。
	対応パソコン	USB2.0ポートを標準搭載した DOS/V機（OADG仕様）
	対応OS	Windows Vista(32bit)、 Windows XP Service Pack2以降

DT-OP-RA(ブースター搭載屋内アンテナ)	
インターフェース	ブースター搭載室内アンテナ本体：F型コネクター
受信ch	UHF　ch.13～62
総合利得	ch.13～38：8.5～15.5dB　ch.39～62：4.5～13.5dB
インピーダンス	75Ω
受信偏波	水平
動作電圧	DC5V　(USB給電ケーブルから供給)
消費電流	最大30mA
消費電力	最大150mW
外形寸法	152×180×81mm（突起部を除く）
重量	約250g（本体のみ、付属品含まず）
動作環境	温度：0～40℃　　湿度：20%～85%（結露なきこと）
対応製品	地上デジタル放送チューナー搭載製品

<ch.13指向性特性図>

ch.13(470MHz)
総合利得：10.0dB
VSWR：1.34
半値角度：83.4°

困ったときは

最新の Q&Aの情報は、弊社ホームページ(buffalo. jp)をご参照ください。

映像が表示されない、または音声がでない

1.アンテナケーブルが、地上デジタルチューナー搭載製品に正しく取り付けられていない可能性があります。取り外してから、もう一度接続しなおしてください。

2.アンテナに電源が供給されていない可能性があります。付属のUSB給電ケーブルが奥まで差し込まれているか、USB給電ケーブルを取り付けたパソコンの電源がONになっているかをご確認ください。

3.電波の弱い場所、遮られた場所、極端に強い場所で映像を表示することはできません。あらかじめご了承ください。

■映像にブロックノイズが表示される

アンテナの向きや、設置場所が適切でない可能性があります。映像を見て確認しながら向きや設置場所を調節してください。